実践をつなぐヒント集

研究部だより

CONNECT 実践共有編

Creating a Fun School Where Everyone Thrives!
子どもも大人もいきいきと活躍する楽しい学校づくり

2025.12

VOL.6

今回の実践　職員厚生の在り方を見直そう～年間集金額、集金回数の削減～

みなさんの職場には「職員厚生」という組織がありますか？

昨今は働き方改革や業務改善を進めていく中で廃止している職場もあると聞きますが、様々な見直しを行いながらも、多くの職場で組織されているのではないでしょうか。

私は今年から担当となり、メンバーで昨年までの事業内容の見直しを行いました。当校は集金額も多く、懇親会補助や茶菓子類が豊富でしたが、その反面で懇親会不参加者への返金、茶菓子の購入などの分担が多く、担当者の苦労の上に成り立っていることを痛感しました。

そこで、職員間のつながりを大切にしながらも、担当者の負担軽減が図れるような改善案をメンバーで検討して企画委員会の場で提案し、その後に全職員で合意形成を図る場を設けて、以下のように改善を進めました！

改善内容

☆年間集金額・集金回数の変更（集金業務負担軽減）

・年間集金額　（旧）44,000円　→　（新）12,000円

・年間集金回数　（旧）　１１回　→　（新）　３回

（旧）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
集金額	4,000	4,000	4,000	4,000		4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	44,000

（新）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
集金額	4,000	4,000	4,000										12,000

☆事業内容の見直し（業務負担軽減 ＋ アップデート）

・懇親会補助の廃止　→　実費集金　・茶菓子類の削減　→　各自持参

・慶弔費　→　維持 ＋ 周知徹底（特に祝い事は全職員が集まる場で披露）

職員の声

集金額が減ったので毎月の手取りが増えて嬉しいです！
ただ、茶菓子類がなくなって少し残念です（泣）

現金で集金をする市費職員等が15人ほどいるので、集金回数が減り、負担がかなり減りました。また、職員数が多いので、懇親会の会費用意や返金がなくなりとても楽になりました。

実践を行ってみて

今回の見直しについて、職員からは概ね肯定的な意見をいただきました。意見集約の場を設定し議論を深める中で、多くの職員が職員厚生は職場環境の向上やつながりを深めるために重要であると再認識することができたようです。

また、先日は県から親睦会費の振込手数料負担の見直しについても通知がありました。そういった変化にも対応しながら現代の社会にあった組織となるように、今後も継続して、職員間で議論、交流の場などを設定し、アップデートできるように取組を進めていきたいです。

新潟県学校事務研究協議会
新事研は、子どもも大人もいきいきと活躍する
楽しい学校づくりを目指します

■ホームページ
https://shinjiken.ngt.ed.jp

CONNECT FEEDBACK

みんなの声を集めました！

感想や質問をお寄せいただきありがとうございました。皆様からのフィードバックは、実践者の大きな励みとなり、次の挑戦への原動力となっています。また、他者の視点や意見を知ることは、新たな気づきや学びにつながります。お寄せいただいた声を共有しますので、さらなる学びのきっかけとして、ぜひご覧ください。

今回は **職員厚生の在り方を見直そう**
～年間集金額、集金回数の削減～
の感想や質問をまとめました

感想ピックアップ　お寄せいただいた感想をご紹介します

■ 職員厚生は本来の目的を大切にしながらも、近年の状況を考えると在り方を見直す必要がある組織で考え方も年代によって違ったりするので、さらっと書かれていますが、たくさん検討し進めたんだろうなと思いました。また、議論を深める中で目的の再認識が図れたとのことで、自分一人で進めるのではなく、皆を巻き込みながら進めていく実践も大切だと感じました。

■ 職員厚生について、見直しを図りたいと考えていたので大変参考になりました。
担当者の負担軽減と職員間のつながりを両方大切にした素晴らしい業務改善だと思います。

■ 当校では、事務職員→職員厚生の会計という位置づけになっています。会計について全ての学期で担っているため、少し負担に思うところがあります。学期毎の幹事の負担にも差があるようにも感じているので、職員厚生担当の先生方と相談をしながら、つながりは大切にしながらも負担を軽減できるように考えていきたいと思いました。

質問コーナー　質問 ＆ 実践者からの回答

Thank you !!

Q1. 当校でも同じように職員厚生の集金額や規程の変更を提案しようと考えています。
年間集金額 12,000円の支出内容や金額設定の理由について教えてください。

A1. 支出内容は主に慶弔費関係、新聞購読料、少額の茶菓子代に充てています。特に慶弔費は発生時期の見通しが立てにくいためやや多めに計上しています。
金額の設定は事業内容に基づく予算案を参考に決定しました。また、年度途中での退職や転入などがあった際に集金や返金の手続きがしやすいように切りの良い金額にしてあります。

実践者コメント　感想・質問をお寄せいただきありがとうございました！

これまで自分の取組を振り返る機会をあまり設けておらず、成果と課題を深く考察することがありませんでした。しかし、多くのご意見をいただいたことで、客観的な視点から取組を見直し新たな気付きが得られました。それらを踏まえてさらなる改善につなげていきたいと考えています。

また、この取組を参考に自校でも見直しを進めているとの声をいただきうれしく思います。ぜひ、皆様の取組についても共有していただけると幸いです。

あなたの実践も募集中！

一人の実践はみんなの学びへと繋がっています。引き続き、皆様からの実践提供をお待ちしております。

回答はこちら